

第 13 回八戸市災害対策本部員会議

本部長指示事項

- 本部員の皆様には、地震への対応お疲れ様です。
- 地震発生から 3 か月半が経過しようとしています。被害状況の把握については、住家や事業所の新たな報告も鈍化してきていることから、概ね終了し、被害の全容も見えつつあるものと思います。
- 今回の地震による被害額は、前回に比べ約 18 億円の増加となっておりますが、これは主に港湾の復旧に係る建設関係によるものであり、今後は港湾の復旧や商工会議所の企業調査等によるもの以外に大きく変動するものはないと思われます。
- この 3 か月半の間、発災と同時に災害対策本部を設置し、市民の安全確保を第一に、避難所の開設・運営、被害状況の把握、NTT 東日本の鉄塔に係る対応や、被害を受けた多くの施設の復旧をはじめ、罹災証明書及び被害届出証明書の早期発行など、被災者への支援に取り組んでいただきました。
- これまで職員の皆さんに災害対応に取り組んでいただき、被害状況や被害額の把握については終わりつつあり、被害に伴う道路の陥没や断水などからの災害応急対策は、実施すべきものは実施済みとなりました。
- また、被害からの復旧については、被害を受けた多くの施設において、復旧済み、あるいは復旧作業中であり、順調に復旧が進んでいるところであります。

- 被災者に対する支援については、実施すべき対応は迅速に実施し、今後も引き続き各課において実施できる状況にあり、また、震災からの着実な復旧、復興に向け、「未来共創推進戦略2026」に、新たに「震災復興推進プロジェクト」を位置づけ、同プロジェクトを強力に推し進めることとしております。
- このようなことから、職員が非常配備体制により総動員で対応を行ってまいりましたが、全庁的な体制の災害対策本部はその役割が果たされたものと考え、今後は通常業務の中で震災からの復旧・復興を推進することとし、八戸市災害対策本部は本日の本部員会議をもって廃止することとします。
- 災害対策本部は廃止しますが、引き続き危機管理部において被害状況等の取りまとめを行うこととし、各部においても継続して被害状況や被害額、復旧状況を把握するとともに、被害からの復旧、被災者支援に取り組んでください。
- これまで大変お疲れ様でした。